

技術・家庭科 技術分野1学年の学習

狹山市立入間野中学校

■学習目標

- ①技術の見方・考え方を働かせ、技術の評価と選択ができる力を身に付ける。
- ②粘り強く物事を進める姿勢を身に付ける。

■1学年の目標

- ①身近な技術に興味・関心を持つ。
- ②既存の技術の比較・検討から選択をし、自分たちの生活をより豊かにしようとする態度を培う。
- ③材料の特徴や生物の特性を理解し、適切に加工する技能を身に付ける。
- ④材料と加工、生物育成の基礎的な知識を理解する。

■評価方法

下記に示す4つの項目で観点別に評価し、総合的な評価をします。

- ①生活や技術への関心・意欲・態度 【授業態度、ワークシート、作品】
 - ・生活や社会に活用されている技術に興味を持ち、意欲的に授業に取り組んでいるか。
 - ・授業規律をきちんと守ることができているか。
 - ・提出物(ノート、レポート、作品など)の期限を守り、きちんとできているか。
- ②生活を工夫し創造する能力 【ワークシート、定期テスト】
 - ・使用目的や使用条件によって機能や構造、材料や加工方法など検討し決定しているか。
 - ・条件に応じて作業手順を適切に決定し栽培計画を立てるとともに、作物の生長の変化に応じて、作業の手順や肥料を適切に評価し選択しているか。
- ③生活の技能 【作品、実技テスト】
 - ・適切な製図法で製作品を書くことができるとともに、工具を正しく使用することができているか。
 - ・資材や用具を適切に用いて、管理作業を実施できているか。
- ④生活や技術についての知識・理解 【ワークシート、定期テスト、実習】
 - ・動物飼育や水産生物、栽培の基本的な用語を身に付け、生物の特性に合った管理方法を理解しているか。
 - ・材料と加工について基本的な用語を身に付け、説明することができる。
また、等角図と第三角法による正投影図の基本的な書き方についての知識を身に付けているか。

■授業の約束

- ①先生や発表者の話をしっかりと聞く。
- ②黒板に書いたことや必要と考えた先生の話などは記入する。
- ③色ペンや図、表などを効果的に用いて工夫して書く。
- ④授業中に配布したプリントはノートに貼る。
- ⑤指定された工具のみを使用し、それ以外の工具や工作機器には勝手に触れない。
- ⑥服装は原則、座学が制服、実習はジャージとし体育着は不可とする。
- ⑦ノートやワークを回収したときは、技術・家庭科係が指定された場所に運び、返却も行う。